

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を实践するための制度の理解と活用
4. 理念を实践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 エルダー介良

ユニット名 1階

自己評価実施年月日 平成 20 年 8 月 13 日

記録者氏名 西森 吉子

記録年月日 平成 20 年 8 月 18 日

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	これからも地域と家族に対して実行、交流していきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	出来ているかの見直しを行い目標を立てていく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	地域の方については施設前に掲示し、地域への理念の浸透を図っている。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	積極的に地域へ出かける機会を作っていく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	今後も町内会との交流を通じて地区の方たちとの交流を深めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	地域担当保健師と連絡を取り研修があれば参加する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	改善計画シートを作成し質の確保と向上に努めていく。自己評価の意義と狙いは全員が理解しているが今後も取り組んでいく。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	町内会長に運営推進委員に参加しており町内会との連携が出来ている。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	今後については、各種書類の提供をとらえ高知市担当者との連携を深めていく。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	今後は必要な人に活用できるようにして行きたい。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	○	今後、高齢者虐待防止関連法に当たるケースがあれば監督官庁と連携を取るようにしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約をしたり解約をする際は十分に説明をしながら、ご家族やご本人の思いや不安な点などを聞いている。	○	今後も理念に基づいて利用者家族に十分説明している。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情箱を設置し、苦情や不安、意見を言えるように各ユニットに表示している。	○	利用者の意見や不満を職員並びに外部へ表せる機会を話し合い検討していく。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ご家族の面会時に、利用者の生活状態を報告し希望なども聞くようにしている。状態変化のある時は必ずきめ細かく連絡している。毎月のお便りにも写真や行事、個々の生活のこと、金銭報告などをして定期的にサインを頂いている。	○	異動はお便りで伝えたり、面会時に報告している。領収書はコピーを取り月に一度送り、面会時にサインを頂いている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段から家族には何でも言える関係作りを心がけ、訪問時等にも話せるように留意し提案について職員間で検討して反映出来るように努めている。	○	今後はお便りや面会時など機会を捕らえ意見や不満苦情を言えるようにしていく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会を設け意見や要望を出し、参加できない人には投書箱を設置し運営者に伝えて反映出来るようにしている。	○	運営者はしばしば施設を訪問して、直接意見を聞く機会を持ち提案や意見を聞いて運営に反映している。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	人員増により利用者や家族の状況の変化に合わせ柔軟な対応ができるローテーションが組めるようになった。	○	平成19年度に続き各ユニットの人員を増強した。今後は増強により利用者のサービスに有効に働くよう必要に応じて勤務体制を調整していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への影響を最小限度に抑えるよう、日頃から職員と話し合いを持っている。異動も最小限に留めるように配慮している。	○	今後も異動、離職を最小限に抑えるように対応していく。
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年2回の研修計画を立て、全員が参加し研修レポートの提出を行い、施設外研修参加者による伝達講習を行っている。施設内研修会も定期的に行っている。	○	施設内外の研修回数を多くして質の向上に努め認知症理解向上に努めていく。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	高知県グループホーム連絡協議会ユニット研修会に加入し集会や研修を通じて互いの情報交換を行っている。	○	研修や集会を通じての情報交換を更に深めていきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の親睦会だけでなく全体会を持ち、職員の意見や問題点について聞くことで、運営者とも直接連絡するなどの体制を取っている。	○	各職員のプライバシーに配慮しながら職員に対する理解を深め、職員の感じているストレスの軽減を図っていく。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の資格更新や資格取得など勤務調整を行い、状況について把握し常に向上心を持って働けるようにしている。	○	管理者だけでなく、職員全員がレベルアップできるよう努めていく。研修や資格取得は必ず伝え、研修受講や資格取得については勤務調整を行っている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用の相談がある時には、見学や面談時に本人に会って本人の思いや状態について理解し受け止めるようにしている。入院している方については相談室、理学療養士、医師と連携をとり話を聞いている。	○	ケースによっては医療機関からの情報収集をしていく。必要と思われる受診を勧めた。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用についての相談がある時は、見学に来て頂き、心身状態や困っている事、不安な事などを聞いて相談にのっている。	○	今後も時間を取り家族の困っている事、求めている事について十分聞いた上で相談に乗っていく。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に情報収集し適切なサービスを見極め必要に応じて他のサービスに繋げるようにしている。	○	地域支援センター、地域のケアマネジャー、病院の相談員などと連携している。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学時や面接時には、利用者さんと職員を交えて本人にホームの生活を体験して頂いている。	○	見学時に入居希望の方だけを他入居者と一緒に過ごして頂き不安な表情や戸惑っていないか上手くコミュニケーションが図れるか状態を確認して家族と相談している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑にいける方には収穫して頂き、取って来た物は皆で食べるように調理方法や調理など利用者さんに聞きながら行っている。花がある時は摘んできて思い思いに生けてもらっている。	○	利用者さんの力が発揮出来るような場面作りを多くしていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	その時々々の状態を伝えて家族の思いや現状などに寄り添いながら、本人の生活の場を広げて共に支えあう関係作りに努めている。	○	家族との情報交換をより強くするするようにし、本人お生活の幅を広げていく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご本人の状態を小まめに報告、相談したり、本人や家族の思いを受け止めながら両者の思いを繋げるようご家族との外出や買い物等行けるよう支援している。	○	ご家族との外出を進めたり行事への参加を勧めていく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お話しの会への定期的な参加、お墓参り、お手紙の交換など継続的な交流が出来るように支援し、面会時にはゆっくり過ごして頂けるように意向など聞いている。	○	今後も継続できるように支援していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係性を情報収集し職員同士が共有している。個別に話しを聞いたり相談に乗るなどしながら、利用者同士が支えあって過ごせるよう支援している。	○	生活の中での不安や困り事など、相談に乗って安心して生活できるように努めている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	面会に行くようにしており、その後の様子や状態を伺っている。	○	継続して様子を伺うようにしていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関りの中での言動や表情などから把握し、意向や思いについて検討し職員同士共有するようになっている。	○ プランの変更時などに聞いている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居後の生活の中で出て来る言葉やご家族、面会の方などの話の中で少しずつ不明な点や具体的な情報を得て照らし合わせている。	○ 今後も家族や友人などの訪問の機会を通じて折に振れ過去の具体的な情報を得ていく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員全員で利用者個々の生活リズムを理解しながら、言動や表情などから全体的に理解するよう努めている。	○ チームで連携共有しながら、利用者個々の状態の把握に努めていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	家族の希望や思いを伺い、日頃の言動より気づきを持てるようにしている。毎月のモニタリング、定期的なカンファレンスを行い介護計画にいかせるよう相談や意見を聞いている。	○ 利用者一人ひとりの思いをいかし、その人らしく暮らせるような支援が出来るように検討していく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の実施状況については期限までに見直し、状態変化のある時は必要に応じて現状に即したプランになるように必要なアドバイスを貰っている。	○ 現状に即したプランになるように、今後も関係者と話し合っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報を共有するために、食事や排泄、入浴、介護計画の実践の記録をとり利用者の日々の暮らし方、身体的状況や変化について個人記録に記入して勤務に入る前に確認や送りを実施、介護計画にいかしている。	○	今後も職員間で気づきや工夫など情報を共有し、役立てて行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当事業所は介護保険法に基づく多機能性を有してはいないが、一時的な入院における居室の確保と利用者が不安なく当グループホームで生活できるよう支援している。	○	施設に看護師がおり健康チェックを行い主治医と連携を取り、異常の早期発見に努めている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域高校福祉課の生徒にボランティアに来訪、年2回の合同消防訓練、介良いふれあいセンター（日本舞踊会）を見に行き交流している。町内会の子供や高齢者との交流会を行い、今年度は参加させて貰う予定である。	○	地域資源との協同を勧めていく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	研修時や入居時などケアマネジャー等の情報を集めている。	○	今のところ、他のサービスは利用していない。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在必要がない為、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメントで地域包括支援センターとの協同はしていない。	○	将来的には必要となる可能性は否めない為、地域包括支援センターと密に関りを持って行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	今後も家族の希望に添うように支援していく。
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	十分に出来ている。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	看護職員がいない時は、病状変化に対応できるよう介護職員が確実な申し送りをし連携を図っている。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	今後も病院関係者や家族と連携し情報交換し早期退院を図っていく。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	重度化や終末期の有り様は一人ひとり内容が違うので、より細かく対応出来る様、意思の疎通を図っていく。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	重度化や終末期の有り様は一人ひとり内容が違うので、より細かく対応出来る様、意思の疎通を図っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>別の所に移り住む時は、家族及び本人に関わる役所、病院関係者と十分な話し合いを持ち情報交換に努めている。入院する時は介護要約を送り、又入院先に赴き医師、看護師、相談員のいずれかと情報交換している。</p>	<p>○</p> <p>更によりよい取り組みが出来るよう努力している。</p>
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の漏洩防止については、全職員に周知徹底しており就職の際にサインを貰っている。又写真についても外部に好評して良いかどうかを家族に取り全職員も把握している。又、ミーティングの際に個人情報が守れているか職員間で話し合いを持っている。</p>	<p>○</p> <p>ミーティング時や折に振れ意識の向上を図り個人情報や尊厳の大切さを徹底している。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者に合わせて言葉掛けを行い決めにくい方についてはどちらか選ぶように支援している。又日々の生活の言動の中で思いを察知し、職員間で共有し言葉掛けのヒントとしている。</p>	<p>○</p> <p>今後も個人の思いを反映出来るように職員、家族と意見交換をしながら支援していく。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>朝は本人の希望に添って起床、朝食を取って頂いている。散歩や掃除など一日の流れはあっても利用者本意の気持ちを優先するようにしている。</p>	<p>○</p> <p>利用者主体となるように、自然に参加できる場面や選べる環境を作っていく。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>一人ひとりの生活習慣に合わせて支援し、行事や外出などお化粧やおしゃれを楽しめるように支援している。又美容院などは家族が同伴されたり、月1回の理容師の来所時に自分の好みを言って切って貰っている。</p>	<p>○</p> <p>今後もその人らしいおしゃれが出来るように職員間、家族と相談しながら支援していく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月1回は全体で食事作りを行い、毎週1回は小鉢作り、朝は毎朝作る為早く起きた人にお手伝いして貰っている。配膳や片付け、おやつ作り等利用者と共に行い一緒に食事を楽しんでいる。	○	楽しみながら出来ているので今後も無理のないように支援していく。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は一人ひとりの好みを理解しており、毎月個別に買い物に付き添ったり、家族と外出時に買って来たりして好みの物を楽しめるように支援している。	○	他の利用者との関係、量など配慮しながら支援していく。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	居室にトイレがあり、行きやすくなっている。言葉掛けや見守りの必要な人については時間を見計らって言葉掛けを行っている。	○	必要な利用者には、プランに入れて実施し職員間の共有を図っている。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の意向に添うように利用者さんの希望日や時間を聞いて相談している。入浴を嫌がる人には言葉を選んで勧めたり、時間を於いて再度勧めたり工夫している。	○	利用者個々の気持ちを大切に、楽しんで入れるよう今後も支援していく。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	1日の生活の流れを職員は理解しており、日中は他の利用者との交流など活動出来る様支援している。その日の体調や状態に合わせてゆっくり休めるように職員間の共有を図っている。	○	個人の思いや状態変化などその時々で検討している。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自分で選べるように、言葉かけを行い選んで貰っている。一人でしたい事、皆で出来る事、職員間で共有しながら利用者の意向に添うようにしている。	○	希望のある人は優先しているが他の利用者との関係にも注意していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小銭は手元に持っている人もいる。家族よりお金を預かって管理している人でも、外出時には自分で払うことが出来るように支援している。	○	買い物を楽しんでいるので今後も支援していく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の意向に沿って、散歩や外気浴、買い物などの支援を行っている。又家族の協力も依頼している。	○	今後も個別性を尊重した支援をしていく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別に出かける機会を作るよう支援し、家族の協力も依頼しながら、希望に添った支援が出来るようにしている。	○	家族との連携を図り、職員間の勤務調整し支援していく。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人との電話、年賀状や書中見舞いなど時に応じて出すように支援している。	○	今後も継続してできるよう支援していく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	何時でも来て頂き、気兼ねなく過ごして頂けるような雰囲気作りを心掛けている。	○	希望がある時は本人や家族の希望に添うようにしていく。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の対象者はいないが管理者は「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を理解出来ている。	○	管理者より折にふれ身体拘束の話しを職員にしていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	職員間の連携を蜜にして利用者さんの行動に気を配っていく。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	定期的に巡視する事で利用者さんの安全を確認していく。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	今後も利用者さんの状況に合わせて危険と思われる物については職員間で検討し家族とも相談していく。
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	今後も事故を想定し勉強会を継続していく。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	今後も救急救命法の受講、消防訓練など参加しスムーズに行動出来るようにしていく。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	高知市の災害担当係りの方より具体的な資料など頂いた。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p> <p>主治医からの情報を得て起こり得るリスクに対する説明や方法についてご家族と共に対策を話し合っている。状態の説明を行いながら安全の為の方法の検討をし、安全な靴の購入など検討している。</p>	○	一人ひとりの起こり得るリスクについて職員間で検討し家族とも連携していく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>普段の状態について職員は把握しており、状態の変化や異変に気づいた時はバイタルチェックを行い管理者へ報告し家族への連絡を行い早めに受診するようにしている。</p>	○	今後も早期発見、早期対応が出来るよう職員間の共有をしていく。
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>服薬処方時の処方箋は個人別にファイル記入し、全員が把握できるようにしている。又処方変更や注意すべき点については情報を共有できるよう観察や記録の強化に努めている。</p>	○	薬のマニュアルを毎月確認しあい、変更薬など注意すべき点については目印など書くようにしている。
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>食材には繊維の多い物や乳製品を取り入れ、寒天を使ったおやつ作り等多くしている。又、体操や散歩など身体を動かすことで自然排便を促すようにしている。</p>	○	更に便秘の重要性についての理解を深めるようにしていく。
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>毎食後の言葉かけを行い、見守りの必要な人に対しては状態に応じたの支援をしている。義歯の洗浄も毎日行っている。</p>	○	居室でする人には言葉かけを行っている。フロアでする利用者には個人別に準備しておきすぐに磨けるようにしてから言葉かけを行っている。
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>栄養士の献立による食事内容になっている。食事量、水分量の記録をとり少ない人については工夫して勧めたり好みの物を購入したり工夫している。</p>	○	個別に購入したり、食事を食べやすくキザミやおにぎりにしたり、目先を変えるよう支援している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	起こりうる可能性のある感染症に関しての細かいマニュアルを作成し予防対策に努めている。インフルエンザの予防接種は家族同意の上職員と共に受けている。ノロウイルスの対策としてペーパータオルを使用している。	○	感染症の発生する時期にはマニュアルを読み返し学習している。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、台所の水まわり、冷蔵庫は清潔を保つよう職員間で取り決めている。食材の鮮度や状態を確認して期限までに消費している。食器は利用者さんが一度洗った物を食洗器にかけている。冷蔵庫の掃除は毎火曜日に行っている。	○	管理栄養士による勉強会を行った、機会があれば今後も勉強会をしていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	常に花があるように季節感のある明るい花を植えている。玄関先にはベンチ、入り口には花を生けている。	○	玄関壁に作品やポスター等飾ったりして、季節を感じて頂けるようにしている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	強い日差しの際はカーテンをしたり、本棚や植木などを置いて光の調節や季節感を出すようにしている。又利用者同士で作った季節の作品などを毎月飾るようにしている。	○	利用者さん同士が作った作品作りを毎月展示している。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間、食卓付近にもソファを設置、廊下にも椅子を置いている。一人ひとり自由な座り方を選んでいる。	○	離れて座りたい場所がある為、一人になりたい時や静かにいたい人が座っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた物や好みの物を置くように持参 して頂いている。様子を見てから徐々に増やした りしている。	○	状態により安全の検討を行い見直しをしている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気をこまめに行い、居室には温度計を設置し、 室温調節を行っている。日中は日勤者が居室訪問 時、夜間は巡視時に確認調節している。	○	時間帯により、室温が違う為利用者、場所など随 時調整し対応している。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	好みの物を置きながら、一人ひとりの状態変化に 対応しては危険と思われる物、必要と思われる物 の見直しや位置に付いて検討を行い安全で自立し た生活が送れるよう支援している。	○	職員間で随時話合い共有して早めの対応が出来る ようにしている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	認識できない人には貼紙や特徴になるものを置い たり、時間がかかっても習慣になるように繰り返 し言葉かけなど行い認識できるよう支援してい る。	○	暖簾や飾りなどを置いて、注意を促すようにして いる。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	球根を植えたり、花の水遣りをしたり利用者が日 常的に活動できるようにしている。又、玄関には ベンチ、ベランダには椅子を置いて外気浴や利用 者同士の憩いの場としている。	○	散歩に行けない人には外気浴や他の利用者や前を 通る人、他のユニットの人達との交流の場となっ ている。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者さんの個別的ニーズに答えるような配慮に重点を置きながら、自然な時間を大切にしている。他のグループホームと特に異なってアピールする事は無いと思うが、馴染みの関係作りを心がけ「心の安定」をまず第一に考えた取り組みを各ユニットが行えている。